

2 学校、家庭、地域社会の連携を 生かした取組の事例

小学校 家庭との連携を生かした事例

家庭との連携を生かして命の大切さについて考える

○道徳の時間と他の教科等との関連や家庭や地域との連携を図り、生命を大切にしていこうとする心情を育てます。

事前の取組

「生き物大好き」 (生活科)

ねらい

生き物とのふれ合いを通して、命の大切さに気付く。

ぬいぐるみからは、音が聞こえないよね。みんなからは、生きていて音が聞こえる。みんな違う音だね。



ね。く臓もあな、動も、あなたの元気がよ。いているよ。

びく臓のク、く聞音のド、こえるだ。ッ、くりし。えよ。大ッ。

あたたかいね。



保健所の方を講師として招き、子犬とのふれ合い体験をする。子犬の心音や自分の心音を聞いたり、小動物とのふれ合い方を学んだりすることを通して、すべての生き物の命の存在とその大切さについて気付くことができた。

親子ふれあい活動 (学校行事)

- ・親子でさまざまな運動を楽しむ。
- ・運動した後、肌のふれ合いをする。
- ・活動して感じたことを、お互いに伝える。

お父さん、大きいな。ぎゅっとされてちよっと痛かったけれど、うれしいな。

音が響いているよ。



児童の日記より

「ぎゅつ」と、おかあさんにだっこしてもらったよ。ほっぺとほっぺも大すきしたよ。だっこは気持ちがいいなあ。だっこはうれしいな。でも、赤ちゃんみたいで、ちよつとはずかしいな。また、こんど、こっそりかくれてだっこしてね。

道徳の時間 (家庭・地域への公開授業)

主題名 かけがえのないいのち (低3-(2))

ねらい

たった一つしかない命に気付き、命を大切にしようとする態度を育てる。

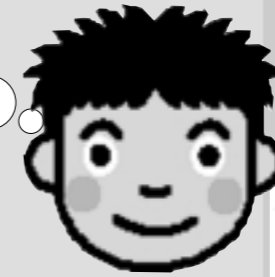
学習展開

- 資料をもとに、たった一つの命について話し合う。
- 家の人に心配をかけた経験について話し合う。
- 事前に行った聞き取りのワークシートを見たり、家族の話の聞いたりして、自分の命を見守ってくれている人たちの思いを考える。



わたしが生まれて、みんなが喜んでくれたので、心がにっこりとなったよ。

ぼくが生まれるまで、4日間もかかって、大変だっただろうな。



事前の聞き取りワークシート

・誕生の様子、家族の思い、今までに家族に心配をかけたことや家族のうれしかったことなどを聞き取る。



児童の日記より

ぼくは、みんなが生まれたときのいろいろなお話がききました。どの子も生まれたとき、おとうさんもおかあさんもよろこんでくれました。わたしのちをいちゃんのためにしたいです。

事後の取組

「男の子・女の子」 (学級活動)

○男女の違いを知り、互いに大切にしようとする態度を育てる。

「知らない人についていかない」 (学級活動)

○自分の命を守るためにできる方法を考え、実行しようとする態度を育てる。

関連する活動

学校支援スタッフ (地域のボランティア) による登下校の見守り活動。

防犯教室 (学校行事)

・VTR視聴、警察の方の話、身を守るための行動の実演など。

小学校 家庭との連携を生かした事例

家庭で「心のノート」を生かそう

○家庭で「心のノート」を活用して、家族の心のつながりを深め、家族の一員として楽しい家庭を築こうとする態度を育てます。

家庭で

かぞくが 大好き

「心のノート」小学校1・2年 P72~P75

- 子どもに寄せる願い、はげまし、喜びなどをメッセージにして伝える。



わたしの成長を温かく見守り続けてくれる人…家族

「心のノート」小学校3・4年 P74~P77

- 子どもと一緒に話し合いながら書き込む。



わたしの原点はここにある

「心のノート」小学校5・6年 P88~P91

- 「家族新聞」をコピーして定期的に活用したり、我が家ならではの家族新聞を協力してつくったりする。



学校で

道徳の時間

主題名 大切な家族 (中4-3)

ねらい

- 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする態度を養う。(小学校3・4年)

学習展開

- 資料をもとに、家族の大切さについて話し合う。
- 道徳の時間の中で、「心のノート」をもとに家族のことを振り返ったり、道徳の時間を考えたことを、「心のノート」を通してさらに深めたりする。

小さいときから見守ってくれてうれしいな。



お手伝いをしたら、とても喜んでくれたよ。もうお手伝いをしたいなあ。

家族新聞の例



○道徳の時間等の中で「心のノート」を活用し、子どもが自分の家庭を振り返り、自分とのかかわりで家族や家庭の大切さを考えることができるようにします。

お父さんは、家族新聞でも喜んでくれていたなあ。



中学年の書き込み例

